

(様式 1)

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県高岡総合プール スポーツ振興課

2 施設所在地
高岡市八ヶ88-1

3 施設設置年度
平成6 年度

4 設置目的
県民の体育及びレクリエーションの振興を図る。

5 施設概要
延床面積：5,724.05㎡ 鉄筋コンクリート造2階建
(主な設備等)
屋外プール (50m×9コース、飛込みプール)
屋内温水プール (25m×8コース・観覧席300席)
トレーニング室、会議室

6 指定管理者
公益財団法人富山県スポーツ協会

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1) 利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R3	R4	R5	R6	R7
63,657	79,917	87,729	88,854	92,565

(2) 利用(使用)料金収入(千円)

R3	R4	R5	R6	R7
12,082	15,160	16,754	17,284	17,859

(3) 利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

R3	R4	R5	R6	R7
18,661	18,661	19,431	19,431	19,431

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

- ・令和7年度は、昨年度に引き続き、利用者数・料金収入ともに増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・平成30年度から、7・8月の休館日を臨時開館し、全日開館（定期清掃日を除く）としている。
- ・平成30年度から高岡総合プール、総合体育センター及び西部体育センターにおいて、3施設のトレーニング室共通利用券を発行するとともに、トレーニング室の利用時間の拡充（2時間⇒3時間）を行っている。
- ・平成30年度から回数券の有効期限の延長（半年⇒1年）を行っている。
- ・平成30年度からプール親子回数券を発行している。
- ・ホームページにおいて施設の利用方法や自主事業の情報を掲載し、広報の充実を図っている。また、SNSを活用し、リアルタイムの情報発信を行っている。
- ・各種大会、団体利用時において、要望に応じて開館時間の繰上げ、閉館時間の延長に柔軟に対応した（臨時開館9件、繰上げ開館46件、閉館時間延長1件）。
- ・TOYAMAアスリートマルチサポート事業指定選手に対し、個々の強化メニューに沿ったトレーニング環境を提供した。
- ・施設利用者や自主事業参加者へのアンケート調査により、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。
- ・障害者の方が利用しやすいように、ゆずりあいパーキング利用制度に協力している。
- ・発達障害のある小中学生を対象とした水泳教室の開催など、障害者の方が利用しやすい環境を整えている。
- ・令和元年度に、障害者の方や介護者などの利便性を図るため、多目的更衣室を設置した。
- ・職員研修を実施し、職員の資質向上を図り、サービスの向上に努めている。
- ・施設利用者の便宜を図るため、引き続き、飲料等の自動販売機を設置した。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・平成30年度から個人利用者向けにシニア料金（満65歳以上、通常料金より2割引）を設定している。
- ・各種教室の受講募集チラシを作成し、周辺の約90,200世帯に新聞折込を実施するとともに、近隣企業にも配置を依頼した。
- ・四半期毎に広報誌を作成し、小中高等学校、官公庁、地域住民、近隣企業及び高岡市、射水市、氷見市体育施設へ配布した。また、R6年度から高岡市内全域の地域交流センターへ配布し、利用促進を図った。
- ・ギャラリーに利用者の絵画・写真・書画等を展示し、館内の魅力創出を図った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：随時 実施方法：利用者にアンケート用紙を配布
回答者数	回答者数：203人
結果	・全体的な満足度 5段階評価 (5)14.8%、(4)47.3% 計62.1% ・意見・要望等 職員の人が優しく接してくれる、プールの出入口が滑りやすい等
結果を踏まえた改善事項	・滑り止めシートを敷き、利用者が安全に利用できるよう改善した

② その他利用者の声を反映させる取組み

・競技団体等からの聞き取りを実施し、施設に対する要望、利用者ニーズの把握に努めた。

③ 主な苦情と対応

・女子更衣室のドライヤーが故障している。
→新品に交換した。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報取扱留意事項を職員に周知徹底しており、適切な個人情報保護に努めている。

(6) 関係団体との連携

・スポーツの日のイベントとして「スポーツフェスティバル」を開催し、施設無料開放、各種体験行事を実施した。(693人参加)
・地元の春季大祭やクリーンデー等のボランティア活動に積極的に参加し、地域住民との融和を図った。
・14歳の挑戦(2校)やインターンシップの受入れを行った。

(7) 施設・設備の維持管理

施設・設備は適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

・危機管理体制マニュアル、緊急時対応マニュアル、緊急連絡網を整備し、日常点検から事故発生時・事後までの対応について職員に周知徹底している。
・日本赤十字社の資格を持つ講師を招き、水上安全法講習会を実施するとともに、心肺蘇生法やAEDの使い方を学び、利用者の安全に努めている。
・避難訓練を実施した。(年2回)
・プールの監視体制については、各監視台及び巡視者の監視区域を明確に定め、事故の未然防止のため、プール排水口の始業前定期点検等を実施している。また、トレーニング室の機器についても、始業前点検を定期的実施している。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
③個人情報に関するトラブルの有無
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	1
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・教室事業の充実や、夏季を中心とした開館日・開館時間の弾力的な運用、SNSの活用を含めた情報発信の強化など、引き続き利用促進やサービスの向上に取り組んでいく必要がある。